



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月14日

上場会社名 ワンダープラネット株式会社
コード番号 4199 URL <https://wonderpla.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 常川 友樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO兼CFO (氏名) 佐藤 彰紀 TEL 052-265-8792
定時株主総会開催予定日 2025年11月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期の業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期	2,316	△5.4	△129	—	△153	—	△131	—
2024年8月期	2,449	△29.3	121	142.9	113	301.2	92	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年8月期	△51.63	—	△19.9	△7.4	△5.6
2024年8月期	36.26	36.22	13.6	5.4	4.9

（参考）持分法投資損益 2025年8月期 —百万円 2024年8月期 —百万円

（注）2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年8月期	1,984	595	30.0	233.52
2024年8月期	2,146	736	33.7	284.40

（参考）自己資本 2025年8月期 595百万円 2024年8月期 724百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	△310	4	231	1,255
2024年8月期	298	248	13	1,330

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年8月期	2,598,212株	2024年8月期	2,594,412株
2025年8月期	48,656株	2024年8月期	48,632株
2025年8月期	2,548,626株	2024年8月期	2,544,613株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

また、2025年10月14日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。その模様（動画）及び説明内容（書き起こし）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	11
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社は「楽しいね！を、世界中の日常へ。」というミッションを掲げ、世界中の一人でも多くの人々の日常に、家族や友達と「楽しいね！」と笑いあえるひとときを届け、国・言語・文化・年齢・性別等あらゆる壁を越えて誰もが楽しめるプロダクト・サービスを創り、コミュニケーションを通じた「笑顔」を世界の隅々まで広げることを目指しております。

現在、当社は《技術で世界のスキマ時間を夢中に変える、日本発のモバイルカジュアルゲームカンパニー》として、日本が誇るIPコンテンツを安心して託される開発基盤・開発実績を強みに、その価値をグローバル市場で最大化することに取り組んでおります。当社が開発を担当している「ジャンプ+ジャンプブラッシュ」は、2025年9月24日に配信が開始され、開発中であるもう1本の有力IPタイトルは、2025年10月3日に株式会社ブシロードとの共同開発タイトル「HUNTER×HUNTER NEN×SURVIVOR」として公表し、2026年の世界同時配信に向け鋭意開発を行っております。

当事業年度の売上高の状況については、前述の有力IPタイトル2本の新規開発が概ね想定どおりに進捗し、新規タイトル開発及び既存タイトル運営に係る開発・運営売上高は前年同期に対し増収となりました。一方で、2025年4月にグローバル展開を開始した「バンドランド」は、注力した繁体字圏の事前登録数が想定どおりに進捗したものの、広告獲得効率やユーザー継続率が想定を下回り、2024年6月に開始していた日本版とともに期初の想定を大きく下回る結果となりました。「クラッシュフィーバー」は、第4四半期に実施した10周年イベントが堅調に推移しましたが、前年同期に対して通期では減収となったことに加え、2024年3月にサービス終了した「ジャンプチヒーローズ」日本版及び繁体字版の減収影響もあったことで、会社全体では前年同期に対し減収となりました。

営業利益、経常利益については、2024年9月の「アリスフィクション」のサービス終了に伴うゲーム内通貨未消費分の収益認識があった一方で、「バンドランド」は運営費用の削減や広告宣伝費の見直しによる収支改善に取り組んだものの、売上高が大きく想定を下回ったことにより、会社全体の利益を大きく押し下げる結果となりました。また、売上高の減収影響に加え、来期からの利益成長フェーズに向けた成長投資を拡大させる方針のもと、先行投資として新規タイトル開発が進捗したことや、研究開発を始めとする成長投資約100百万円を行ったこと等により、会社全体では赤字となりました。

当期純利益については、繰延税金資産を一部計上いたしましたでしたが、営業利益、経常利益が赤字になったことにより、当期純損失となりました。

この結果、当事業年度の売上高は2,316,539千円（前年同期比5.4%減）、営業損失は129,648千円（前事業年度は営業利益121,002千円）、経常損失は153,522千円（前事業年度は経常利益113,242千円）、当期純損失は131,578千円（前事業年度は当期純利益92,261千円）となりました。

なお、当社はモバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）2024年9月1日より、従来「エンターテインメントサービス事業」としていたセグメントの名称を「モバイルゲーム事業」に変更しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末の流動資産は1,730,094千円となり、前事業年度末に比べ100,890千円減少しました。これは主に、売掛金が28,169千円増加したものの、現金及び預金が74,921千円、未収入金の減少等によりその他の流動資産が38,834千円減少したことによるものであります。

固定資産は254,570千円となり、前事業年度末に比べ60,908千円減少しました。これは主に、繰延税金資産が17,560千円増加したものの、運営権が70,000千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,984,664千円となり、前事業年度末に比べ161,798千円減少しました。

（負債）

当事業年度末の流動負債は724,907千円となり、前事業年度末に比べ238,870千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が増加したものの、未払金が185,654千円、前受金が68,612千円減少したことによるものであります。

固定負債は664,390千円となり、前事業年度末に比べ218,576千円増加しました。これは主に、社債が220,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,389,297千円となり、前事業年度末に比べ20,294千円減少しました。

（純資産）

当事業年度末の純資産は595,367千円となり、前事業年度末に比べ141,504千円減少しました。これは主に、繰越利益剰余金が131,578千円減少したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ74,921千円減少し、1,255,186千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、310,079千円（前事業年度は298,889千円の獲得）となりました。これは主に、未払金の減少額185,242千円、税引前当期純損失の計上145,872千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、4,135千円（前事業年度は248,363千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10,877千円があったものの、敷金及び保証金の回収による収入16,000千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、231,023千円（前事業年度は13,444千円の獲得）となりました。これは、長期借入金の返済による支出281,937千円、社債の償還による支出276,000千円があったものの、社債の発行による収入488,960千円、長期借入れによる収入300,000千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

2026年8月期における見通しは以下のとおりであります。

「新規タイトル」

「HUNTER×HUNTER NEN×SURVIVOR」は2026年世界同時配信に向け鋭意開発に努め、「ジャンプ+ジャンブルラッシュ」は引き続き開発に取り組んでまいります。

「クラッシュフィーバー」

運営11年目を迎え、KPIの減衰を見込み、売上高は前年同期比減収を想定しているものの、マーケティング投資や運営体制の適正化により継続した事業利益の貢献を想定しております。

会社全体では、新規タイトルの事業成果に努め、通期での営業黒字を目指す方針であります。しかしながら、近年の世界のモバイルゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、タイトルの業績動向を精緻に予測することがより困難であることから、会社全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、2026年8月期の業績予想を非開示といたします。期間の経過等により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来の財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社を取り巻く事業環境を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としておりますが、現状では事業拡大のための投資に充当していくことが株主に対する最大の利益還元につながるものと考えております。

このことから、当面の間は内部留保の充実を図る方針であり、内部留保資金につきましては、将来の成長に向けた運転資金として有効に活用していく予定であります。現時点においては配当実施の可能性及びその実施時期等につきましては未定とさせていただきます。

なお、剰余金の配当を行う場合には、年一回の期末配当を考慮しており、配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は取締役会の決議によって、毎年2月末日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めております。

上記の方針を踏まえた上で、当期の配当につきましては無配とし、次期の配当につきましても現時点で次期業績予想の合理的な数値算定が困難であることから無配としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,330,108	1,255,186
売掛金	281,894	310,064
仕掛品	84,802	82,691
前渡金	24,543	13,096
前払費用	34,145	32,398
その他	75,491	36,656
流動資産合計	1,830,985	1,730,094
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,025	10,224
工具、器具及び備品（純額）	11,041	13,207
有形固定資産合計	22,066	23,431
無形固定資産		
運営権	186,666	116,666
無形固定資産合計	186,666	116,666
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
関係会社株式	—	1,000
繰延税金資産	64,677	82,238
その他	42,066	31,233
投資その他の資産合計	106,744	114,471
固定資産合計	315,478	254,570
資産合計	2,146,463	1,984,664

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,872	54,723
1年内償還予定の社債	196,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	283,627	308,626
未払金	304,225	118,570
未払費用	213	1,500
未払法人税等	4,747	9,378
前受金	81,821	13,209
預り金	20,366	18,859
株式給付引当金	3,509	—
その他	9,395	39
流動負債合計	963,777	724,907
固定負債		
社債	40,000	260,000
長期借入金	405,814	398,878
その他	—	5,512
固定負債合計	445,814	664,390
負債合計	1,409,591	1,389,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	574,229	575,708
資本剰余金		
資本準備金	1,181,522	1,183,000
資本剰余金合計	1,181,522	1,183,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△934,765	△1,066,344
利益剰余金合計	△934,765	△1,066,344
自己株式	△96,967	△96,997
株主資本合計	724,019	595,367
新株予約権	12,852	—
純資産合計	736,871	595,367
負債純資産合計	2,146,463	1,984,664

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）	当事業年度 （自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）
売上高	2,449,916	2,316,539
売上原価	1,732,491	1,833,460
売上総利益	717,424	483,079
販売費及び一般管理費	596,422	612,728
営業利益又は営業損失（△）	121,002	△129,648
営業外収益		
受取利息	70	1,860
為替差益	61	179
物品売却益	129	—
ポイント還元収入	886	1,285
その他	84	40
営業外収益合計	1,232	3,365
営業外費用		
支払利息	3,603	12,525
社債利息	2,121	3,296
株式交付費	—	60
社債発行費	—	11,039
新株予約権発行費	2,385	—
固定資産除却損	0	36
その他	882	280
営業外費用合計	8,992	27,239
経常利益又は経常損失（△）	113,242	△153,522
特別利益		
新株予約権戻入益	—	7,650
特別利益合計	—	7,650
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	113,242	△145,872
法人税、住民税及び事業税	3,267	3,267
法人税等調整額	17,713	△17,560
法人税等合計	20,980	△14,293
当期純利益又は当期純損失（△）	92,261	△131,578

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※	715,134	39.4	656,095	35.8
II 経費		1,101,584	60.6	1,175,254	64.2
当期総製造費用		1,816,718	100.0	1,831,349	100.0
期首仕掛品棚卸高		574		84,802	
合計		1,817,293		1,916,151	
期末仕掛品棚卸高		84,802		82,691	
当期売上原価		1,732,491		1,833,460	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
プラットフォーム手数料 (千円)	344,724	278,509
外注費 (千円)	423,586	548,177

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価による個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	573, 229	1, 180, 522	1, 180, 522	△1, 027, 027	△1, 027, 027
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	1, 000	1, 000	1, 000		
当期純利益				92, 261	92, 261
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	1, 000	1, 000	1, 000	92, 261	92, 261
当期末残高	574, 229	1, 181, 522	1, 181, 522	△934, 765	△934, 765

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△96, 967	629, 757	—	629, 757
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）		2, 000		2, 000
当期純利益		92, 261		92, 261
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			12, 852	12, 852
当期変動額合計	—	94, 261	12, 852	107, 114
当期末残高	△96, 967	724, 019	12, 852	736, 871

当事業年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	574, 229	1, 181, 522	1, 181, 522	△934, 765	△934, 765
当期変動額					
新株の発行	1, 478	1, 478	1, 478		
当期純損失（△）				△131, 578	△131, 578
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	1, 478	1, 478	1, 478	△131, 578	△131, 578
当期末残高	575, 708	1, 183, 000	1, 183, 000	△1, 066, 344	△1, 066, 344

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△96, 967	724, 019	12, 852	736, 871
当期変動額				
新株の発行		2, 956		2, 956
当期純損失（△）		△131, 578		△131, 578
自己株式の取得	△29	△29		△29
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			△12, 852	△12, 852
当期変動額合計	△29	△128, 651	△12, 852	△141, 504
当期末残高	△96, 997	595, 367	—	595, 367

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）	当事業年度 （自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	113,242	△145,872
減価償却費	77,235	79,064
賞与引当金の増減額（△は減少）	△27,666	—
受取利息及び受取配当金	△70	△1,860
支払利息及び社債利息	5,724	15,821
社債発行費	—	11,039
株式交付費	—	60
株式報酬費用	8,711	△5,209
新株予約権発行費	2,385	—
ポイント還元収入	△886	△1,285
物品売却益	△129	—
固定資産除却損	0	36
新株予約権戻入益	—	△7,650
売上債権の増減額（△は増加）	286,065	△28,169
棚卸資産の増減額（△は増加）	△84,227	2,110
未収入金の増減額（△は増加）	△60,425	68,586
仕入債務の増減額（△は減少）	16,907	△5,149
未払金の増減額（△は減少）	153,905	△185,242
前受金の増減額（△は減少）	△48,636	△68,612
その他	△134,120	△23,083
小計	308,016	△295,415
利息及び配当金の受取額	70	1,860
利息の支払額	△6,361	△14,268
ポイント還元金の受取額	886	1,285
法人税等の支払額	△3,722	△3,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,889	△310,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,000	—
定期預金の払戻による収入	440,000	—
有形固定資産の取得による支出	△9,886	△10,877
有形固定資産の売却による収入	126	—
関係会社株式の取得による支出	—	△1,000
敷金及び保証金の差入による支出	△2,004	△5,499
敷金及び保証金の回収による収入	—	16,000
預り保証金の受入による収入	—	5,512
その他	129	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	248,363	4,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△235,820	△281,937
社債の発行による収入	—	488,960
社債の償還による支出	△258,000	△276,000
株式の発行による収入	2,000	—
新株予約権の発行による収入	5,264	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,444	231,023
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	560,697	△74,921
現金及び現金同等物の期首残高	769,411	1,330,108
現金及び現金同等物の期末残高	1,330,108	1,255,186

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社はモバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（注）2024年9月1日より、従来「エンターテインメントサービス事業」としていたセグメントの名称を「モバイルゲーム事業」に変更しております。

（１株当たり情報の注記）

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	284.40円	233.52円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	36.26円	△51.63円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	36.22円	－円

（注）１．当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

２．1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	92,261	△131,578
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失 (△)（千円）	92,261	△131,578
普通株式の期中平均株式数（株）	2,544,613	2,548,626
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	2,349	－
（うち新株予約権（株））	(2,349)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権5種類（新株予約権 の数70,421個（普通株式199,022 株））。	新株予約権6種類（新株予約権 の数67,724個（普通株式207,908 株））。

(重要な後発事象の注記)

(多額な資金の借入)

当社は、財務体質の強化を図り、運転資金を確保することを目的とし、2025年10月9日開催の取締役会において、金融機関から資金の借入を行うことを決議しました。なお、今回の借入金額の一部には愛知県信用保証協会の保証が付されており、これにより従来より借入期間を長期化することで、財務基盤の一層の安定化に繋がるものと考えております。

借入の概要

(1) 借入先	株式会社名古屋銀行
(2) 借入金額	100,000千円
(3) 借入金利	基準金利＋スプレッド
(4) 借入実行日	2025年10月予定
(5) 借入期間	3年
(6) 担保等の有無	無担保・無保証

(1) 借入先	株式会社名古屋銀行
(2) 借入金額	280,000千円
(3) 借入金利	基準金利＋スプレッド
(4) 借入実行日	2025年10月予定
(5) 借入期間	10年
(6) 担保等の有無	無担保・愛知県信用保証協会の保証付